4/1
平成23年（2011年）
No.675

広報 Public Relations Kyotanabe City

京たなべ

発行／京田辺市
〒610-0393京都府京田辺市田辺80
☎(0774)63-1122 FAX(0774)63-4781
HP http://www.kyotanabe.jp/

■広報京たなべがフルカラーに

「広報京たなべ」をリニューアルし、今号から、2色刷りのページ（1日号は1・4・5・8面、15日号は1・4面）をフルカラーにします。

今後も、より読みやすい紙面となるよう心掛け、市の情報をみなさんに分かりやすくお伝えできるよう努めます。

京田辺市非核平和都市宣言

やすらぎと希望に満ちた平和な日々を送ることは、世界の人々の願いです。

しかし、いまも世界のどこかで人間（ひと）の命の尊さを踏みにじるような争いが続き、人類は、核兵器の脅威にさらされています。

原子爆弾による広島・長崎の苦しみや悲しみが、二度と繰り返されることのないよう、私たちは、日本国憲法が掲げる平和理念に基づき、非核三原則を守り、非暴力と対話で、核兵器の廃絶と世界の平和を訴え続けなければなりません。

「戦争の悲惨さと平和や生命（いのち）の尊さを、次代を担う子どもたちに伝えたい」

「ぼくたち、わたしたちも平和な未来のためにできることをがんばります」

世代を越えて受け継がれる『平和への思い』が、世界平和への希望の光となることを信じます。

私たちは、木津川と甘南備山に包まれた豊かな自然と先人が築いてきた歴史や文化を大切にし、互いに尊敬しあい、家庭から地域、地域から世界へと笑顔と思いやりの輪を広げながら、一人ひとりが平和の実現に向けて努力することを誓い、ここに京田辺市が非核平和都市として歩むことを宣言します。

非核平和都市を宣言

核兵器廃絶と世界平和に向けて

市は3月20日に、核兵器の廃絶と世界平和の実現に向けて京田辺市非核平和都市宣言を行いました。宣言は、市民のみなさんから寄せられた平和メッセージなどを基に、子どもたちにも分かりやすいよう工夫しました。

宣言式では、市内の小・中学生が宣言文を朗読したほか（**＝写真**）、長崎で被爆された非核平和都市宣言起草委員会委員の藤田晴子さんが被爆体験を語られました。

問合せ先＝総務室（☎64・1337）

4月10日 府議会議員選挙の投票日

午前7時から午後8時まで受け付け

4月10日(日)は京都府議会議員一般選挙の投票日です。午前7時から午後8時まで投票できます。開票は中央公民館で同日午後9時から行います。

【投票できる人】

平成3年4月11日以前に生まれた日本国籍の人で、同22年12月31日（転入届出の日）以前から本市内に住所がある人

【投票場所】

下表のとおり

【投票所入場券】

告示日（4月1日）から順次、投票所入場券を郵送しています。手元に届くまでに数日かかることや、家族でも別々に届くことがあります

万が一、入場券が届かないとき、紛失したとき、忘れたときなどは、投票所の受け付けでお申し出ください。

期日前投票

投票日に仕事・用事・旅行・病気・出産などで投票所に行けない人のために、投票日前に投票ができる「期日前投票制度」があります

投票期間＝4月2日(土)～9日(土)、土・日曜日もできます

時間＝午前8時30分～午後8時

場所＝市役所4階403会議室

同投票所にある宣誓書を書いて提出してください。印鑑・身分証明書などは不要です。

投票日直前は大変混み合いますので、できるだけ早めにお越しください。

【問合せ先】

選挙管理委員会（総務室内、☎64・1337）

あなたの投票所

投票区	投票所	地域
1	中央図書館	田辺・新田辺西住宅
2	薪公民館	薪
3	興戸公民館	興戸
4	松井公民館	松井
5	北部住民センター	西八・東林・岡村・大住ケ丘一丁目・大住ケ丘二丁目・大住ケ丘三丁目・九十九園
6	健康村公民館	三野・健康村
7	草内公民館	草内・新興戸
8	飯岡公民館	飯岡・セピアの園
9	三山木小学校	高木・二又・山本・出垣内・山崎・宮ノ口・江津
10	南山学園	南山東・南山西・同志社住宅地・つつきの郷
11	普賢寺公民館	多々羅・普賢寺・水取・同志社山手
12	打田構造改善センター	打田・高船
13	天王公民館	天王
14	河原公民館	河原・新田辺東住宅
15	府営住宅田辺団地第2集会所	府営住宅田辺団地
16	松井ケ丘公民館	松井ケ丘・山手東・山手中央
17	東田辺公民館	東
18	一休ケ丘公民館	一休ケ丘
19	健康ケ丘公民館	大住ケ丘四丁目・大住ケ丘五丁目・健康ケ丘・洛南寮
20	花住坂公民館	花住坂・市営住宅大住団地
21	山手南公民館	山手南・山手西

東北地方太平洋沖地震の被災地へ 復興に向け可能な限り支援

3月11日に発生しました東北地方太平洋沖地震において、我が国の歴史上類を見ない甚大な被害が発生しました。

被災されました皆様には心よりお見舞い申し上げますとともに、亡くなられました皆様には謹んで哀悼の意を表します。また、被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

今回の大地震は、被害が大規模かつ広範囲にわたっていることから、復興に長期間を要することが予想されます。

京田辺市を挙げて可能な限りの支援を行ってまいりたいと考えておりますので、市民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

京田辺市長　石井　明三

義援金を受け付け

市は、東北地方太平洋沖地震の被災地への義援金を受け付けています。義援金箱は、市役所や公共施設に設けています。また、救援物資の受け付けは、市ホームページをご覧ください。

みなさんからの義援金は、日本赤十字社を通じて被災地の復興に役立てられます。

3月27日現在、635万501円の義援金を受け付けました。

南部水防倉庫が完成

地域の防災拠点に

市は、「だれもが安全・安心に暮らせるまちづくり」を目指し、JR三山木駅高架下に南部水防倉庫を建築しました（**＝写真**）。この倉庫には水害時に備え、土のう袋や杭などを収納しています。

また、二又・山崎・出垣内地区を管轄する消防団の器具庫や消防団待機所を併設し、市南部地域の防災拠点としての役割を担う建物となっています。

問合せ先＝消防本部（☎63-7826）